

## 離島の振興を促進するための石巻市における産業の振興に関する計画

平成31年 2月28日作成

宮城県石巻市

### 1 計画策定の趣旨

石巻市は、宮城県の北東部、太平洋に面しており、内陸地方と比較すると寒暖の差が少なく、東北地方の中では年間を通して比較的温暖な地域である。

総面積は554km<sup>2</sup>、岩手県から流れる北上川が本市に入ったところで二手にわかれ、それぞれ追波湾と仙台湾に注いでいる。北上川流域は、肥よくな平野となっており、仙台湾側の河口周辺が最大の市街地となっている。市の東部と牡鹿半島は、北上山地の最南端に位置し、風光明媚なりアス式海岸となっている。

本市の離島、田代島及び網地島は牡鹿半島の西側に位置しており、地形は両島とも海岸段丘をなして平坦地が少なく、海岸線は侵食により屈曲し、三陸沿岸特有のリアス式海岸を呈しており、昭和54年に南三陸金華山国定公園（現在の三陸復興国立公園）に指定されている。

本市の人口は平成17年（2005年）の国勢調査では167,324人であったのに対し、平成23年（2011年）3月11日に発生した東日本大震災による災害危険区域の指定、新市街地の整備による人口移動、生活再建を急ぐ方などが市外へ流出したことなどによって、平成27年（2015年）の国勢調査では147,214人と20,110人が減少している。また、高齢化率も同10年間で6.1%上昇し、平成27年（2015年）には30.27%に達しており、今後も人口の減少は続くものと予想される。

特に、離島振興対策実施地域である田代島及び網地島では第1次産業である漁業、第3次産業である旅館業が島の基幹産業として住民の生活を支えてきたが、過疎化と高齢化が進んでいたところに加え、東日本大震災が拍車をかけ、平成17年（2005年）の国勢調査では人口605人であったのに対し、10年後の平成27年（2015年）の国勢調査では366人と239人減少し、減少率は39.50%となっている。また、高齢化率も同10年間で5.51%上昇し、平成27年（2015年）には73.77%に達している。島別にみると、同10年間の人口は、田代島では50人の減（44.64%減）、網地島では189人の減（38.34%減）となっている。東日本大震災後、移住者やUターンされた方がいるなど、田代島においては、震災前と比較すると高齢化率は若干ながら減少したものの、両島ともに地域の活力は失われつつあり、過疎化が深刻化している。

本計画は、田代島及び網地島の産業の現状を把握し、課題の解決を図りながら、石巻市震災復興基本計画の復興の基本理念や各種施策及び石巻市総合計画基本計画の基本理念に即しながら、新鮮な魚介類、風光明媚な自然景観など、当該離島の豊かな地域資源を活用した産業の振興や観光客の誘客など、住民、各種団体、企業等との協働によって、離島の振興を促進し、持続可能な暮らしの実現を図ることを目的として策定するものである。

◆人口推移

区分	平成17年			平成22年			平成27年		
	人口(人)	世帯数(戸)	高齢化率	人口(人)	世帯数(戸)	高齢化率	人口(人)	世帯数(戸)	高齢化率
石巻市	167,324	56,857	24.17%	160,826	57,871	27.30%	147,214	56,819	30.27%
田代島	112	74	75.00%	81	50	79.01%	62	38	72.58%
網地島	493	274	66.73%	426	246	74.18%	304	188	74.01%

出典：国勢調査

2 計画の対象とする地区

本計画の対象地域は、田代島及び網地島とする。

3 計画期間

本計画の計画期間は、平成31年4月1日から平成35年3月31日までとする。

4 対象地区の産業振興の基本方針

(1) 田代島、網地島の産業の現状

ア 田代島及び網地島の特色

両島は、本土とは海路で結ばれており、石巻と田代島、網地島間を網地島ライン株式会社、鮎川と網地島間を石巻市営汽船が運航していたが、平成18年4月に石巻市営汽船による鮎川、長渡航路が廃止され、網地島ライン株式会社に一本化されている。

石巻から田代島と網地島を経由して鮎川までをカーフェリーが1往復/日、石巻から田代島と網地島を高速船が3往復/日、鮎川から網地島を小型客船が3往復/日運航されているが、航路が外洋に面しているため、他の島嶼地域と比較すると欠航率がやや高い状況にある。島民の高齢化が進み、また、人口が減少している中で観光振興策に力を入れてきたことなどにより、利用者数は観光客数が増加傾向にあり、震災前を大きく上回ってきているが、運航回数は十分確保できていないことから、島外への通勤・通学が難しい状況にある。利便性向上のため、航路体系の充実が課題となっている他、高齢化に対応したバリアフリー化及び高速フェリー化が長年の課題となっていたが、平成30年度において、12月に新造船（カーフェリー）が就航。3月に新造船（高速船）が就航する予定であり、船舶の高速化にともなって3隻体制から2隻体制の運航に切り替えが予定されている。

島内の交通としては、網地島については県道、田代島については市道が縦貫しており、集落間を結ぶ主要道路として整備されていることから、島内の移動は徒歩又は自動車による移動となっているが、平坦な道路が少なく、急勾配、狭い部分が多いことに加え、震災の影響により道路の一部に破損が見られることから、快適な交通環境の確保のために定期的な維持・整備を行っていく必要がある。

田代島では本市が直営している宿泊施設「マンガアイランド」においてマウンテンバイクや電動自転車のレンタルを実施し、観光の足として利用されている。また、網地島では、唯一の陸上交通機関として市民バスが島内外の人々の移動手段として利用されている。

平成23年4月1日現在の道路の整備状況は、田代島が実延長8.0km、市道の改良率41.3%、舗装率100%、網地島は実延長20.6km、県道の改良率97.9%、舗装率100%となっている。

通信面においては、テレビ、ラジオの難視聴地域はなく、電話回線及び防災行政無線が整備されており、ISDN及び一部高速データ通信が利用可能となっているが、光ファイバー等による超高速ブロードバンドサービスは導入されていない。

イ 近年の田代島及び網地島の産業の動向

両島の就業者数は、平成17年(2005年)の国勢調査では256人であったのに対し、平成27年(2015年)の国勢調査では136人と10年間で120人減少している。

産業別就業者の構成比は、平成27年(2015年)の国勢調査で、第一次産業が41.18%、第二次産業が4.41%、第三次産業が54.41%となっている。これを産業分類別で見ると、漁業が41.18%と最も高く、次いで宿泊業、飲食サービス業が13.24%、医療、福祉が12.50%の順となっている。

#### 【水産業】

基幹産業である水産業については、周辺海域に金華山沖の好漁場を有していることから、大型定置網や刺し網等の沿岸漁業に加え、網地島ではギンザケ、田代島ではカキ等の浅海養殖業が営まれている。漁業従事者の高齢化と後継者不足が年々深刻化しており、震災によって漁港施設や漁業施設が甚大な被害を受けていることから、早期の復旧・整備が進められている。しかしながら、震災による地盤沈下で沿岸の漁場環境が大きく変化しており、磯根資源や養殖水産物の水揚げに与える影響が生じている。また、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害への対応も新たな課題となっている。

#### 【観光業】

本地域は三陸復興国立公園に指定されており、「みちのく潮風トレイル」のモデルコースにもなっているなど、優れた自然景観を有している。

田代島は、マンガを活用した島おこしとして、キャンプなどが楽しめる「マンガアイランド」が整備されており、島内の移動手段としてマウンテンバイクや電動自転車のレンタルを実施している。また、島では大漁の守り神として猫をととても大切にしており、猫を祀った「猫神様(猫神社)」が島の中央にあり、近年、「猫の島」として、国内外を問わず多くの観光客が訪れている。

網地島は、廃校となった中学校の校舎を全面改装して平成14年に「島の楽校」を開設しており、校外学習や一般団体の研修を目的とした活動に利用されている。また、東北でも有数の透明度を誇る遠浅で波の静かな網地白浜海水浴場は、太平洋側にも開

わらず、海に落ちる夕日が見られる稀有な場所で、海水浴期間中、売店、シャワー、トイレもオープンしており、引き波がないと好評を博している。特に震災後は、周辺地域の海水浴場が再開できていなかった中、いち早く平成25年から再開しており、震災前を上回る入込数を記録している。さらには、島の高齢者が先生となり、島外から来た子供たちと一緒に、島の伝統的な魚釣り「アナゴ抜き」、竹鉄砲・竹とんぼ作り、肝だめし、島からの鮎川の花火鑑賞、シーカヤック等を楽しむ「あじ島冒険楽校」が継続的に実施されている。

◆田代島及び網地島における産業別就業人口の推移

区 分		平成17年			平成22年			平成27年		
		田代島	網地島	両島計	田代島	網地島	両島計	田代島	網地島	両島計
就業人口(人)		56	200	256	23	131	154	23	113	136
内 訳	第1次産業(人)	45	108	153	14	61	75	10	46	56
	構成比	80.36%	54.00%	59.77%	60.87%	46.56%	48.70%	43.48%	40.71%	41.18%
	第2次産業(人)	0	9	9	0	4	4	1	5	6
	構成比	0.00%	4.50%	3.52%	0.00%	3.05%	2.60%	4.35%	4.42%	4.41%
	第3次産業(人)	11	83	94	9	66	75	12	62	74
	構成比	19.64%	41.50%	36.72%	39.13%	50.38%	48.70%	52.17%	54.87%	54.41%

出典：国勢調査

◆産業大分類別就業人口

大 分 類 区 分	合計	漁業	建設業	製造業	運輸業、郵便業
就業者数(人)	136	56	4	2	9
構 成 比	100.00%	41.18%	2.94%	1.47%	6.62%
大 分 類 区 分	卸売業、小売業	学術研究、専門・ 技術サービス業	宿泊業、飲食サ ービス業	生活関連サービ ス業、娯楽業	教育、学習支援 業
就業者数(人)	9	2	18	2	1
構 成 比	6.62%	1.47%	13.24%	1.47%	0.74%
大 分 類 区 分	医療、福祉	複合サービ ス業	サービス業(他に分類 されないもの)	公務(他に分類され ないものを除く)	
就業者数(人)	17	7	7	2	
構 成 比	12.50%	5.15%	5.15%	1.47%	

出典：平成27年国勢調査

◆漁家戸数の推移

単位：人

	平成20年				平成25年			
	専業	兼業 (1種)	兼業 (2種)	計	専業	兼業 (1種)	兼業 (2種)	計
田代島	14	3	2	19	11	3	1	15
網地島	60	7	29	96	27	5	21	53
計	74	10	31	115	38	8	22	68

出典：漁業センサス（各年10月1日現在）

◆漁業協同組合員数の推移

単位：人

	平成21年	平成23年	平成25年	平成29年
田代島	68	53	53	48
網地島	309	267	254	220
計	377	320	307	268

出典：宮城県漁業協同組合調べ（各年4月1日現在）

◆登録隻数の推移

単位：隻

	平成21年	平成23年	平成26年	平成27年
田代島	69	58	64	39
網地島	173	79	104	87
計	242	137	168	126

出典：漁港港勢調査（各年12月31日現在）

◆属地水揚高の推移

		平成20年	平成23年	平成26年	平成27年
田代島	水揚高（トン）	75	74	63	89
	水揚金額（百万円）	63	26	25	34
網地島	水揚高（トン）	1,187	64	739	814
	水揚金額（百万円）	611	27	434	401
計	水揚高（トン）	1,262	138	802	903
	水揚金額（百万円）	674	53	459	435

出典：漁港港勢調査（各年12月31日現在）

◆年次別観光客入込数の推移

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
石巻全域	4, 431, 597	1, 915, 433	2, 473, 715	2, 799, 203	2, 827, 569	3, 176, 802	3, 354, 568	3, 577, 275
田代島	12, 388	860	3, 412	5, 873	6, 262	39, 781	40, 068	20, 853
網地島	31, 365	126	14, 972	20, 164	19, 788	18, 396	36, 229	23, 523
網地白浜海水浴場	31, 531	0	0	8, 031	13, 066	19, 410	19, 786	9, 915

出典：宮城県観光統計概要（1月～12月）

(2) 田代島、網地島の産業振興を図る上の課題

本土との唯一の交通手段である定期航路について、運航回数が十分確保できておらず、島外への通勤・通学が難しい状況にあることから、人口の流出には歯止めがかかっておらず、また、震災後はその傾向が顕著である。

このことから、地域機能が低下し、生活の維持が困難となってきたため、地域の活性化を図るため、地域産業の振興に努め、雇用の場の確保と創出が喫緊の課題となっている。

基幹産業である水産業は、新たな担い手が育ってきてはいるものの、漁業従事者の高齢化と後継者不足は深刻化しており、さらには震災による漁場環境の変化による水揚げへの影響等もあり、後継者対策と6次産業化、農商工連携等による高付加価値化などへの支援が課題となっている。

観光業では、田代島の猫を目当てに多くの観光客が訪れており、近年では海外、特にアジア圏からの観光客も目立つようになってきている。また、網地島の遠浅でエメラルドグリーンに輝く海の透明度は東北有数を誇っていることもあり、海水浴シーズは船を待つ海水浴客が長蛇の列ができるほどのにぎわいである。しかしながら、両島とも宿泊を伴う滞在型の観光や体験型の観光に取組めるような体制にはなく、また、宿泊施設の老朽化、従事者の高齢化が進んできており、通年型観光のためには観光資源が乏しいため、飲食店も皆無に等しい状況にあり、後継者の育成や、新規創業者の進出支援なども必要となっている。

情報サービス業は、離島という地理的に不利な条件を緩和する重要な社会インフラでもあることから、電気通信事業者による情報通信基盤の拡充及び情報通信サービスの高度化の促進を図ることで、ICTを活用した観光情報の提供や特産物の販売等につなげていく必要がある。

今後は、田代島及び網地島ならではの自然環境や新鮮な魚介類を活かした新たな産業の創出等によって、若者の定住や市外からの移住促進などに努め、持続可能な地域づくりを推進していく必要がある。

## 5 産業の振興の対象とする事業が属する業種

本計画における産業振興の対象業種は次に掲げるとおりとする。

- (1) 製造業
- (2) 農林水産物等販売業
- (3) 旅館業
- (4) 情報サービス業等

## 6 産業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等との役割分担

田代島及び網地島の産業振興を図るうえでの課題を解決するため、租税特別措置法の活用を促進し、製造業、農林水産物等販売業、旅館業、情報サービス業等の設備投資や雇用を促すため、国、県、関係機関等と連携しながら次の取組みを行っていく。

### 【石巻市】

本市のホームページ等で周知するほか、関係団体等を通じて該当する事業者に対し、租税特別措置法の活用を促進していくほか、移住相談窓口「石巻まちのコンシェルジュ」の活動との連携、石巻市創業支援補助金等の活用を促進していく。

### 【宮城県】

本市と連携した租税特別措置法の活用促進、設備投資や雇用促進のための支援制度等の情報提供等を行っていく。

### 【商工会議所、商工会】

研修等による島内事業者の支援、経営改善指導、情報提供、各種融資等の相談、あっせん等を行っていく。

### 【観光事業者】

観光PR活動の強化、旅館事業者等に対する支援、その他産業振興事業への協力等を行っていく。

### 【漁業協同組合】

各事業者に対する支援、指導、特産品等による島のPR、その他産業振興事業への協力等を行っていく。

## 7 計画の目標

業種	指標	内容	目標件数
製造業	設備投資件数	企業進出・規模拡張に伴う新增設、既存事業者の取得件数	1件
	新規雇用者数	企業進出・規模拡張にともなう新規雇用者数	1名
農林水産物等販売業	設備投資件数	企業進出・規模拡張に伴う新增設、既存事業者の取得件数	1件
	新規雇用者数	企業進出・規模拡張にともなう新規雇用者数	1名

		用者数	
旅館業	設備投資件数	企業進出・規模拡張に伴う新增設、既存事業者の取得件数	1件
	新規雇用者数	企業進出・規模拡張にともなう新規雇用者数	1名
情報サービス業等	設備投資件数	企業進出・規模拡張に伴う新增設、既存事業者の取得件数	1件
	新規雇用者数	企業進出・規模拡張にともなう新規雇用者数	1名